

# JFEの制振ダンパー

耐震性能を大きく向上させ、  
建築物の安全性を確保します。

JFE エンジニアリング 株式会社

<http://www.jfe-eng.co.jp/>

JFE シビル 株式会社

<http://www.jfe-civil.com/>



JFEの制振ダンパーは、鋼材の優れた変形性能を活用して、地震時に建物に  
入力されるエネルギーを塑性変形により吸収する履歴型ダンパーです。

## 特長

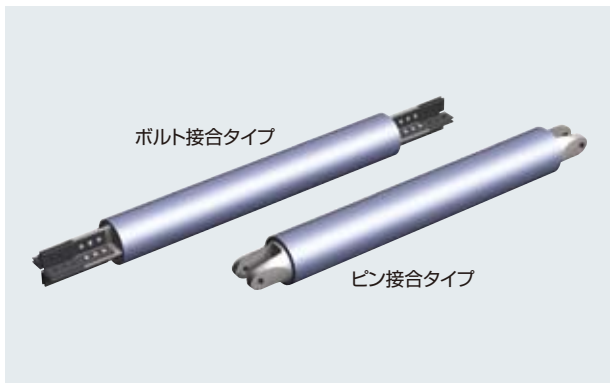
- 1 3種類(制振ブレース、制振間柱、制振パネル)のダンパーにより、種々の建  
物にフレキシブルに対応することができます。
- 2 エネルギー吸収部材として、異なる3つの強度の低降伏点鋼板を選択するこ  
とができます。
- 3 大地震の後でも、ダンパー部分を取り替えることで、地震を受ける前の耐震  
性能を建物に付与することができます。



## 制振ブレース

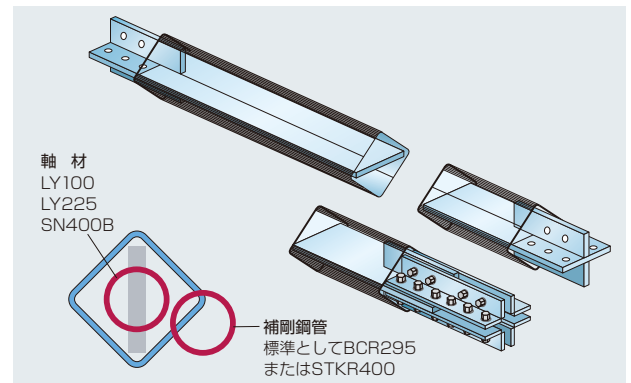
### 【二重鋼管タイプ】

補剛管が軸力管の全体座屈を拘束し、軸力管の低降伏点鋼板が  
地震エネルギーを吸収します。両端接合部はピン接合と剛接合  
の2つのタイプがあります。



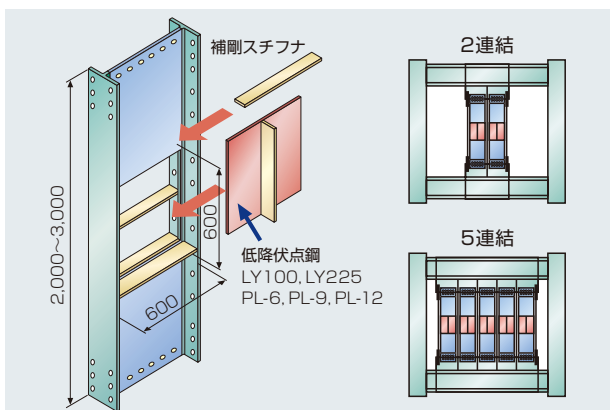
### 【平鋼タイプ】

低降伏点鋼又は普通鋼による平鋼を軸材として局部座屈・全体  
座屈を角形鋼管で補剛したシンプルな構成です。



## 制振間柱

H形鋼のウェブの一部に低降伏点鋼を配した制振部材です。各  
ユニットを横連結し、分散あるいはまとめて配置することによ  
り、耐力・剛性を簡単に調整できます。



## 制振パネル

制振パネルは、低降伏点鋼板全体がせん断降伏するように、適  
切なリブを配置して補剛を行います。高耐力・高剛性が期待でき、  
地震時には低降伏点パネル全体で地震エネルギーを吸収し、建  
築物の主要構造部の被害を抑えます。

